

こもる 市議会だより

9月定例会

No. 199
令和5.11.8



千曲小学校4年生「みどりの少年団」の皆さん（16頁ばいすをご覧ください）

次号市議会だより200号の
表紙の題字を募集します



小諸市議会HP



YouTube配信

※詳細は5頁をご
覧ください

主な内容

- 9月定例会の概要 …………… 2～5ページ
- 一般質問（17名）…………… 6～14ページ
- 市議会だより題字募集のお知らせ
…………… 15ページ
- ばいす・傍聴席・編集後記 ……… 16ページ

意 答 問

|| || ||
意 答 質
見 弁 疑

令和4年度決算を認定

9月定例会は、8月25日から9月26日までの33日間の会期で開催されました。理事者提出議案は、条例案8件、予算案22件、一般案件2件の計32件で、すべて原案どおり可決・認定しました。請願1件は採択となりました。議会だよりでは、条例・予算審査等における主な審議経過をお知らせします。

令和4年度一般会計 決算の概要

令和4年度決算状況は、大型事業は一段落したものの、新型コロナウイルス感染症対策と、物価高騰対策の事業により、当初予算編成以降、大きく膨らんだ予算規模となった。また、当初は経済状況の悪化が懸念されていたが、歳入においては生産活動や個人消費の持ち直しから、個人市民税や地方消費税交付金等の増収により単年度収支及び実質単年度収支は黒字となった。

一般会計の歳入決算額は195億7千639万円で、前年度比10・3%の減となった。歳出決算額は185億8千959万円で、前年度比11・6%の減となった。

令和4年度一般会計決算の詳細は、広報こもろ10月号10〜11ページをご覧ください。

令和4年度 一般会計決算


◆財政調整基金等積立金
問 基金の運用について、現金が多いがどのように運用しているのか。
答 30数億円ある財政調整基金は、緊急の際などすぐに経費に充てられるよう、主に決済性預金で、そのほか定期預金で運用している。

◆ふるさとPR事業
問 ふるさと市民の登録者数とメリットは何か。
答 登録者数は令和4年度末で延べ9千605人で、ふるさと市民カードの提示で懐古園や文化施設等の入園、入館料が無料となり、市内協賛店から様々なサービスを受けることができ、小諸の旬な話題がメールで配信される。

◆防災対策費運営費
問 自主防災組織のある区は61区とのことだが、今後増やす方策はあるか。

◆保育所費人件費
問 保育士の確保が難しい状況で、離職させない工夫はしているか。
答 書類の作成が負担との意見があり、ICTに慣れしてもらいながら負担軽減に取り組んでいる。また、事務

○小諸市公式LINE
登録をされた皆さまに、防災・防犯等に関わる情報、防災行政無線で放送した内容をお届けしますので、QRコードからご登録ください。



答 アンケート調査で、新たに2区が自主防災組織を作りたいとの回答があり、今後、支援をしていきたい。
意 市公式LINEの登録者は現在約3千500人とのことだが、増えるよう普及促進に努めてほしい。

◆高地トレーニング等推進事業
問 東海大学との係わりはどのようになっているか。また、高地トレーニング関係の宿泊数はどこを利用した件数か。
答 東海大学スポーツ医科学研究所とは高地トレーニングの効果について科学的に実証をする目的で連携事業を行なっている。宿泊数は市内の宿泊施設を利用して合宿をした件数で、延べ1千600件である。

意 総合体育館1階の和式トイレについて、国民スポーツ大会の会場となることから早急に改修してほしい。
高地トレーニングは、東御市とも連携をしてアスリートを更に誘致してほしい。

◆予防接種事業
問 子宮頸がんワクチンの予

問 防接種を接種推奨しているが、全員に接種してもらいたいという方針でよいか。また、接種を停止していた期間の方への対応や接種状況はどうか。

答 定期接種で勧奨義務があり、多くの方に接種してもらいたい。接種を見合わせていた期間の方には、令和4年度からキャッチアップの接種対象となっており、対象者に再度勧奨をしている。昨年度の接種回数は544回で、かなり増えている。

意 带状疱疹ワクチン接種費用を補助している市町村が増えており、市でも発症率が高いとされる50歳以上を対象に接種費用の補助を検討してほしい。

◆社会福祉総務費運営費

問 民生・児童委員の男女比と平均年齢は。また、人材確保研究部会の組織構成と活動はどうか。

答 民生・児童委員は11名で、男性37名、女性74名、平均年齢は68歳である。なり手

不足が課題であり、人材確保研究部会を立ち上げた。組織構成は民生・児童委員協議会の理事会副会長1名、委員で区長経験者1名、2期目以降の委員1名、退任された委員で長く務められた方1名、事務局1名の5名で構成されている。

◆収集運搬運営事業

問 区内清掃作業での不法投棄ごみは、どのようにしたらよいか。また、ポイ捨てごみの対処はどうか。

答 区内清掃用のごみ袋で燃えるごみ用、埋め立てごみ用があるので申し込みをさせていただきたい。処分は、集積場に置いていただければ回収日に回収する。また、冷蔵庫や洗濯機、廃タイヤなどは職員が回収し、まとめて市で処分している。ポイ捨てを発見したら、連絡いただければ回収する。毎日職員がパトロールしており、一日約50kgのごみを回収している。

◆特定空き家対策事業

問 市内に特定空き家は何件で、どのような対応か。

答 特定空き家と判断しているのは13件で、所有者へは連絡しているが、令和4年度は解体には至っていない。

◆中心拠点形成促進事業

問 調査等委託料の中のデジタルサイネージはどのようなように活用されたのか。

答 市内のイベント情報や、店舗等の情報入手し、回遊滞在を促進することを目的に、小諸駅前広場、懐古園出札、こもテラスのツルヤ側の3か所に設置した。イベント情報等にQRコードが付いており、情報を入

手して自身の携帯端末で活用されたと考えている。

◆松くい虫対策事業

問 松くい虫被害を受けている土地所有者に対し、伐採の補助金活用を促しているのか。また、被害エリアはどのような状況か。

答 積極的なアプローチはしていない。危険な倒木の報告があれば、説明をしている。また、被害木等分布状況調査により、標高80メートルまでと想定していたが標高1千メートルでも確認され、全体としては拡大してきていると感じている。

意 松くい虫被害木処理の補助や多面的機能支払制度等、

更に広報こもろで丁寧な周知をお願いしたい。

◆新型コロナウイルス関連緊急経済対策事業

問 ITエンジニア養成事業業務委託料の内容はどうか。そして成果は出ているか。

答 3年目の事業で、IT企業(株)BTMと連携協定を結び、IT人材養成講座を開設した。委託料はスクールに関わる経費で、リース料や講師料も含まれ、安価で講座を開設していただいている。

令和4年度は、受講者と市内企業とのマッチングを行い、面接までできた。また、市内企業より2名を社員研修として受入れており、人材育成の成果があったと考えている。

＜予算決算委員会審議での討論＞

同和関連団体への補助金等一部を認定できないとする討論があり、採決の結果認定されました。



デジタルサイネージ

令和4年度 特別会計決算

◆小諸市国民健康保険事業特別会計

問 基金の現在高が約3億であるが、今後の運営はどのように考えているか。

答 基金の目安は特にないが、国では給付費の5%は最低でも持つておくべきとの見解が示されており、一般的と考えている。現在は県が財政運営をしており、県にも基金があり、基金は潤沢になっているといえる。今後の運営は、当市の国保財政の状況や、保険料の県統一に向けた標準税率を踏まえて行う必要がある。

◆小諸公園事業特別会計

問 遊園地について、遊具で修理が必要なものはあるかまた、あり方についてはどのように考えているか。

答 遊具は古いが、毎年点検を受け、修理して利用しており、緊急性のものはない。遊園地のあり方については、

令和4年度の遊具使用料が史上最高収入となり、近隣に同規模のものはなく、大切にしていきたい。また、運営はシルバー人材センターに委託しており、継続していきけるのか、将来的にどうしていくべきか考えていかななくてはいけない。

◆小諸市介護保険事業特別会計

問 自宅で介護をしている方への支援として、認知症などの被介護者への接し方や、排せつケアなどを学ぶ機会はあるか。

答 相談時に、認知症ケアについてまとめた冊子「小諸市認知症ケアパス」を渡している。また、排せつケア研修会も行った。

意 認知症サポーターについて、サポーターが繋がる仕組みづくりなど、一歩踏み込んだ取組をしてほしい。



◆小諸市水道事業会計

問 管路更新率が0・19%から0・3%に向上したが、全ての更新には100年以上かかるため、更新予算を増やすことはできないのか。

答 令和7年度には経営戦略を改訂し、今後の水道事業の維持費、更新費用等、必要な経費を算出する。その中で給水使用料の検討も含まれているため、来年度から検討を始めたかと考えている。

意 浅麓水道の成分はミネラル分が強く、機械によっては損耗を早めてしまう事もあると聞いている。受水の費用について少しでも安くするように検討して欲しい。また、将来を見据え水道の広域化を進めて欲しい。

◆小諸市公共下水道事業会計

問 小諸浄化センター耐水化計画策定業務委託はどのような内容か。

答 令和元年東日本台風の際、水管橋の1メートル下まで千曲川の水位が上がったことから検討した。水管橋に何かあった際は、大久保橋にポンプのホースを仮設で回し対応することとしている。ポンプ、ホースの所在等、詳細については現在検討中である。

令和5年度 一般会計補正予算

◆住民情報システム運用事業

問 小諸市公式LINEの運用に関して、機能の追加は考えているのか。

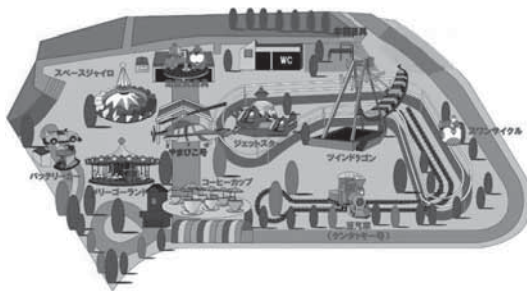
答 防災に特化した情報発信としてきたが、市民の利便性の向上と業務の効率化を図るため予約機能を追加した。今後更に登録者数を伸ばすとともに、市民が必要としている情報発信の拡大について検討していきたい。

◆環境対策費運営費

問 蓄電設備導入補助金について、昨年の申請件数が70件で、当初予算で60件と見込んだが状況はどうか。また、補正額300万円の内訳はどのようになっているか。

答 当初の見込みよりも市民ニーズが多いため追加補正をお願いするもので、内訳は太陽光と蓄電池のセットが上限20万円で10件、蓄電池のみの追加が上限10万円で10件となる。

遊園地のいものMAP



条例など

常任委員会での審査経過

総務文教委員会

◆小諸市市民交流センター条例の一部を改正する条例について（施設の使用時間の変更に伴い使用料の見直しを行うもの）

例（施設の使用時間の変更に伴い使用料の見直しを行うもの）

問 午前9時から午後5時の時間帯について改正後の使用料が値上がりしているのはなぜか。

答 一日使用する場合には、午前、午後と使用する場合に比べて、昼の1時間の利用時間が増えるため、使用時間に合った料金に改訂するもの。

問 利用時間が午後9時半から午後9時に短縮になったが、市民ニーズへの影響はあるか。

答 利用状況は、午後9時までの利用が多く、利用者の意見からも午後9時までの利用で支障がないという意見が大半であり、駐車場の

利用時間も考慮して、合理的であると判断した。

〈討論〉

物価高騰の影響等により、今後使用料を上げることになった場合には、市民が混乱しないよう対応してほしい。

◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

例（新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったため、防疫作業手当の特例を廃止するもの）

◆小諸市大津秀子奨学金貸与条例

〈討論〉

大津秀子様「小諸のために」という意思を尊重して、小諸に戻ってきて就職してもらえるよう働きかけてほしい。

◆小諸市あさま奨学金給付条例の一部を改正する条例

例（以上2議案は奨学金の受給者要件や貸与・給付の停止要件の見直し、再開に

関する規定を追加するもの）

◆市立小諸高原美術館・白鳥映雪館条例の一部を改正する条例

例（以上2議案は観覧料を見直すもの）

◆市立小諸高濱虚子記念館条例の一部を改正する条例

例（以上2議案は観覧料を見直すもの）

◆小諸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（国の補助金交付要綱の放課後児童支援員の条件が変更になったため改正を行うもの）

例（国の補助金交付要綱の放課後児童支援員の条件が変更になったため改正を行うもの）

市民福祉委員会

◆小諸市医療費特別給付金条例の一部を改正する条例

例（障害者支援法の改正に伴い、関連する規定を改めるもの）

請願

◆小諸市発注の建築設計業務委託に関する請願書

本請願は、小諸市発注の建築設計業務委託において、市内の入札資格建築士事務所全社が入札参加できるように、特記仕様書の見直しと、学校再編計画による小学校の統合等において、市内の入札資格建築士事務所が主体的にプロポーザル及び入札に参加できるように、特記仕様書の整備を求めるもの。本会議で採決の結果、全会一致にて「採択」と決した。

請願者

甘利享一建築設計舎 代表	甘利享一
(有)岳建築設計 代表取締役	大竹雅英
小泉建築設計事務所 代表	小泉英夫
篠原建築設計事務所 代表	篠原功
(株)青建設計 代表取締役	荒木貴志
(有)布矢建築事務所 代表取締役	佐藤安幸
(株)東浜設計 代表取締役	東濱四雄

9月定例会の提出議案及び審議結果

本会議ユーチューブ配信



右のQRコードは、本会議ユーチューブ配信の説明ページにリンクされています。

議会だよりでは、定例会の内容の一部を掲載しています。詳細については知りたい方は、ホームページもしくは議会事務局までお問い合わせください。

一般質問

個人質問 17名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」を質すために行うもので、代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派を代表して質問するもので、個人質問は各議員が質問するものです。代表質問の紙面については、会派の人数により割り当てられています。

一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で作成しており、質問内容の一部を要約したものです。ご不明な点は議員にお尋ねください。また、正式な記録は会議録をご覧ください。

議員の連絡先は、ホームページの議員紹介をご覧ください。議会事務局にお問合せください。



「基本計画」と「行政の役割」

楚山 伸二

質問

「コンパクトシティ」の完成度と費用対効果はどうか。

建設水道部長

平成25年度から市庁舎・図書館・市民交流センター・あいおい坂公園・こもろ医療センターへの財政支援等を含めた事業費に110億円、平成30年度から複合施設もテラス・大手門公園整備等で29億円となっている。これらによってコンパクトシティの基本的な整備は出来たと考えている。都市魅力ランキングの上昇や社会増等、効果は徐々に現れていると考えている。

質問

中心部への誘導という点では、肝心の中心部の人口減や高齢化率は市内全区で最も高いが、今後どのように対応していくのか。

市長

コンパクトシティの基本的な考え方である「歩いて暮らせるまち」を実現するためにも、駅周辺の利便性の高いエリアについて、そこに住む人たちを増やしていく

ことも行政の責任として考えていきたい。魅力づくりのための『合区』など地域のニーズに応じて、あり方を考えていく時期に来ている。

質問

小諸出身の娘と孫が帰省し、こもろッジへ連れて行ったら「お孫さんは市民でないから」と利用を断られたという事例があったが、このような対応で、基本構想のテーマである『帰ってきたい』を実現できると思うか。

教育次長

条例規則で定められた対応であったが、特例規定に則して対応できないか検討したい。

小諸市総合計画

第5次基本構想の目指すまちの姿

『住みたい 行きたい 帰ってきたい まち』

年度	H28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7	8	9
基本構想	第5次(12年間)											
基本計画	第10次(前期)			第11次(中期)			第12次(後期)					
実施計画	個別事業は3年間の計画期間 / 毎年見直し(ローリング)											

皆様の傍聴をお待ちしています



本会議と委員会は傍聴ができます。15ページに掲載の定例会の予定をご確認いただき、傍聴にお出かけください。

本会議場の傍聴席は37席で、先着順です。市役所庁舎4階の議会事務局窓口で受付をお願いします。



公共施設等の整備計画予算と実施予算の差は

清水喜久男

質問

公共施設等総合管理計画ではインフラ整備予算は10年間の平均である7億7千万円と設定しているが、今後40年間で1千346億円が必要で、1年では33億円余が必要となる。予算との差は26億円で4・4倍となる。このような状況から水道管の耐用年数は40年であるが実際に管を使用できる年数(60年位)での敷設替えとなり、それに起因した漏水や破損事故が発生することを市民の皆様に周知すべきと思うがどうか。

建設水道部長

来年度、小諸市の水道が給水開始から100周年を迎えることから広報等様々にPRをしたい。

質問

8月の新聞に、県では人口減少に伴い水道事業の広域化を目指すとの記事があった。小諸市では水みらい小諸を設立して業務を委託しているが広域化の検討はどうか。

建設水道部長

佐久地域の広域化については、



耕作放棄地としないため圃場整備補助が必要

県の水道局で進めていくという説明があったので水道事業者と一緒に検討したい。

質問

令和4年度の小諸市の耕作放棄地の状況はどうか。

市長

令和4年度末で584haで令和3年度末より7ha減少した。

質問

耕作放棄地を少なくするため圃場の整備を行う補助はあるのか。

産業振興部長

圃場整備の補助はあるが、収益が上がり経費が減るという要件があり、補助申請は難しい。



新小学校の設計業者選定、重伝建の取組は？

小林一彦

質問

新小学校の設計業者の選定を公募型プロポーザル方式で行う理由は何か。

教育長

市内の多くの学校は、全国の学校と同様に、片側に廊下を設置し、教室が一律南側を向く鉄筋コンクリート造りのハローモニカ型校舎と呼ばれる造りとなっている。しかし、社会は今も大きく変化しており、学力の概念の変化とともに教育の在り方も変化している。学校施設も、多様な子どもたちの資質・能力を育てるための、個別・最適な学びを実現する学校へと変わってきている。

このような状況を踏まえ、これからの学校づくりにあたっては、小諸市が目指す小中一貫教育や、全国的な先進事例を研究した上で、形にできる力、また、現場の教員や児童生徒、地域の皆さんの意見を聞き、設計に反映できる力がないとしても必要である。そのため、設計能力に加えて、教育基本法に

質問

示された理念、教育振興や教育環境に関する様々な知見、スキル、アイデア、経験を有している事業者かどうかが選定するため、プロポーザル方式によることとした。

市長

(※)重伝建の選定への取組はどうか。
現在進めている調査の成果を踏まえて、対象地区の合意状況の最終確認を行い、重伝建の選定を目指すかどうか、政策判断を行う。政策判断にあたっては、予算面のみならず、行政側の体制整備等、課題もあるので、慎重にならざるを得ないところはご理解願いたい。



交流スペースで学年を超えて関わりあう

※重伝建…重要伝統的建造物群保存地区の略称



持続的な森林整備と森林教室の推進を 青木春美

質問

森林環境税（森林環境譲与税）の認知度はどうか。

市長

森林環境税は、令和6年度から国税として、住民税に賦課され納めていただく目的税の名称で、森林環境譲与税は、森林環境税を財源として市町村へ交付される、地方譲与税の名称となる。

質問

小諸市における森林環境譲与税の活用状況はどうか。

市長

令和4年度決算で、譲与額1千355万6千円、執行額は、森林所有者への意向調査業務委託料の300万円、私有林整備に対する補助、林道の維持補修へ290万円、松くい虫被害木対策の90万円、基金積立の900万円となる。

質問

今後の森林環境譲与税の活用方針はどうか。

市長

今後は、森林経営管理制度に基

づき、「森林所有者への管理形態について意向確認」「意向結果による森林整備計画の策定」「森林整備の実施」に、継続的に活用していきたい。

質問

森林教育の経過と現状はどうか。

市長

平成18年度から5年間市内小5年生を対象に「小諸森林再生プロジェクト啓発事業野口健森林教室」を実施。現在は、小中学校の「総合の時間」、千曲小学校4年生の「みどりの少年団」の活動が行われており、市も座学の講師など、積極的に携わっている。



脱炭素



浅間病院・佐久平駅とつなげ、愛のりくん 高橋公

質問

以前から提案しているデマンドタクシーこもろ愛のりくんの広域乗り入れは怎么样了。

市長

佐久市の公共交通と競合するような運行でなければ比較的協議がスムーズに行えることがわかった。マイクロバスなどの比較的大きな車両での路線運行など、予約制の運行が可能なの検討している。

質問

特に佐久平駅方面は佐久地域の交通の中心であり、市民の様々なニーズがあるはずだがどうか。

建設水道部長

佐久市岩村田方面の具体的な施設としては浅間病院とJR佐久平駅があげられる。ただし円滑に協議を進めていくためには、佐久市の公共交通と競合しない運行ルートを設定していく必要がある。

質問

三岡・南大井地区では特に浅間病院には通院のニーズがあると思うが、実現の見込みはどうか。

建設水道部長

まだ佐久市との協議は始まっていない。協議のための条件設定を検討している。協議が始まらないとなんとも言えない。

質問

現在の愛のりくんを、より便利にすることにしているか。

市長

20歳未満の市民への利用拡大を考えている。試験的に1か月程度運行終了時間を19時程度まで延長する予定だ。帰宅した児童・生徒の図書館や塾への利用、高校生が駅から帰宅する時の利用などを想定している。



こもろ愛のりくん（旧タイプ）

個人質問



新郷土博物館ができないなら廃校舎活用で！

早川 聖

質問

視察した廃校舎を後利用した尼崎市立歴史博物館は、歴史資産の収集・保存、展示利用等を行い文化財収蔵庫、地域研究資料館機能を持たせていた。また美濃和紙用具ミュージアムふくくべは美濃和紙の製造に必要な簀や桁等の用具類等地域の歴史や文化に関する資料展示をしていた。教育長は令和3年12月定例会で「旧郷土博物館の収蔵品は本市が誇る貴重な歴史資料で文化財。市所有の空き施設を活用すべく市全体で検討する」と述べていた。その後の検討状況は。

教育長

その後、なかなか進展していない。旧郷土博物館は貴重な資料があり大事にしたい気持ちは十分あるが、3小学校の跡地のその先が見えないので、はっきりしたことは申し上げられない。

質問

廃校まで5年もない。尼崎・美濃の博物館は早い段階から具体的な計画を持って進めてきた。この



廃校となる校舎は郷土博物館として活用を！

ままだと何年も廃校のまま。令和3年12月定例会で旧臨時図書館の利活用で古文書館や公文書館の位置づけを検討していくとの教育長の答弁だったが、その後の検討状況は。

教育長

まだ利活用について具体的なことが、申し上げられない。

質問

廃校の利活用は自治基本条例に則り、市民協働の視点を欠く事が無いよう進めて欲しいがどうか。

教育長

しっかりと受け止めて、今後の検討に加えたい。



マイナカード・学校再編、市民の声を反映！

土屋さつき

質問

小諸市のマイナンバーカードの申請率、自主返納、総点検の現状はどうか。

市長

申請率は7月末現在で77・45%。自主返納は2家族4枚。本市は総点検の対象業務はない。

市民生活部長

自主返納しても29項目のデジタル情報がなくなるわけではない。再発行には手数料が千円かかる。

質問

10月以降のマイナンバーカード申請のサポート体制はどうか。

市長

カード取得を希望しているが手続きに困難や事情を抱えている方々への対応は必要と考えている。出張支援サポートや、よりきめ細やかな体制を整えていく。

質問

小諸市学校再編計画の実施に向けて、市民説明会とパブリックコメントの実施結果をどのように反映させるのか。

教育長

懇話会や今までの市民説明会と同様の内容は計画案に盛り込まれている。修正が必要と判断したご意見は再編計画に反映している。

質問

芦原中学校区再編の検討事項にプール以外にも体育館、校庭、各種専科教室、小中学校校舎位置、放課後の居場所作りとしての児童館等をパブリックコメントの意見として入れるべきではないか。

教育次長

検討事項には一例を載せている。設計を進めていく中でいただいた意見を大事にしていく。



マイナカードに対する市民の不安解消対策を



持続可能な小諸市であり続けるために 山浦利夫

質問

経常収支比率が90%を超えているが、今後の財政運営の中で影響は考えられるか。

財政課長

大型事業が終了していた関係で、投資的経費への財源配分がなかったことで90%を超えたとみている。

今後、社会保障費や物価高騰等のこともあり、経常経費は今後さらに上がってくるとみている。

質問

長期的な視点に立った効率的・効果的な財政運営はどのように考えているか。

市長

事業の選択と集中、自主財源の確保、公共施設の総量縮減等を念頭に、徹底した事務事業の見直しを行い、中長期的な見通しの中で、持続可能な財政運営を進めていく。

質問

公共施設等総合管理計画を推進する上で市民との情報共有や合意形成はどのように考えているか。

市長

これまでの情報は、老朽化状況のようなハード面の情報に偏りがちだが、統廃合等を検討するために、各施設の利用者数や稼働率、利用や運営状況、コスト状況といったソフト面の情報も重要である。

この総合管理計画の改定を契機にまずは、様々な手法により市民の皆様との正確な情報の共有を図りたい。その上で案件に応じて、アンケートや懇談会、説明会などのプロセスを検討し、一定の政策判断を行う場面において適切な合意形成が得られるよう進めたいと考えている。



持続可能な小諸市であり続けるために



脱炭素化を目指す先行地域とは 田中寿光

質問

小諸市が指定した都市機能誘導区域の選定理由は何か。

市長

区域設定の理由は、脱炭素先行地域の応募に向けた検討の初期より意識していたものであり、このことが環境省の求めるものと合致し、計画提案が高く評価された結果につながった。具体的には第3回の脱炭素先行地域募集により、優れた計画提案を優先的に選定するため、重点選定モデルが新設され、当市の提案は「コンパクトシティ×脱炭素」の施策間連携モデルとして評価された。

質問

二酸化炭素の年間5千400トンの排出削減に向けての見込みはどうか。

市長

排出削減の数定は、脱炭素先行地域の計画提案書に記載されているものではなく、参考資料として提出が求められる費用効率性算出ツールの事業効果を算出するため

の数値から情報提供したものだ。

質問

総事業費についての今後の財源内訳はどうか。

市長

現計画上、総事業費約77億円、交付限度額約49億円となっており、原則3分の2という高い交付率の補助メニューであり、この交付金を主な財源として事業を進めることになる。主に共同提案者のシーエナジーが事業主体となる。よって国からの交付金は一旦、市の歳入となるが、間接補助としてそのまま市からシーエナジーへ補助金として交付する。



脱炭素先行地域
長野県小諸市



保育園入園時の待機問題は来年度解決可能か

掛川 剛

質問

今年度、入園申込みしても希望する園に入れなく兄弟姉妹別々の園に入園せざるを得なかった現状がある。来年度以降3歳未満児の待機児童を出さない取り組みをどのように進めていくか。

教育長

公立保育園では保育士の確保増員が喫緊の課題だが、思うように集まらない状況にある。正規職員保育士の計画的な増員採用、会計年度任用保育士の確保に向けては給与額の見直しや職務手当等の支給など処遇改善を行っていく方針が決定している。

質問

正規職員保育士は増えているか。
令和3年度2名、4年度2名、5年度1名が純増となっている。

質問

正規職員の比率をもっと高めていく必要があるが見通しはどうか。

総務部長

今後、年内中に増員での採用計

画をなるべく早い段階で示したい。

質問

会計年度任用職員の待遇改善はどうか。

総務課長

月給制、時給単価向上、クラス担任への手当支給、この3つを現在検討している。

質問

今年度兄弟姉妹が別々の園に入園せざるを得なかった園児は、来年度一緒の園に入れるか。

教育長

新規入園よりも優先的に入園できるよう調整していく。



保育士の待遇改善でみんな笑顔に



地域共生社会の実現へ・教育の充実に向けて

柏木今朝男

質問

「障害者情報アクセシビリティコミュニケーション施策推進法」施行に伴う本市の対応を質す。
同法で地方公共団体は、障がい者が必要とする情報を、十分に取得・利用し、円滑に意思疎通を図れるよう施策の実施を求めている。

特に、命に係わる防災に関しては、障がい者や高齢者、防災行政無線が聞き取れない地域の方々などにとっても、情報保障は必須であり、「防災情報自動配信サービス」の導入など、更なる情報伝達手段の拡充が必要と考えるがどうか。

市長

防災行政無線システムの部分修繕を、令和6年度、7年度で予定、機能拡充の検討も行っていきたい。

質問

視覚障がい者などに等しく情報が伝えられるためにも、市からの送付物などに「音声コード」を早急に導入すべきと考えるがどうか。

市長

音声コードの改良も想定しつつ、

今後開発される各種機器類の活用、使用場面や使用頻度等、メリット、デメリットを考慮し、機器導入の検討を進めていきたい。

質問

新学習指導要領から見た小諸市の教育について「主体的・対話的で深い学び」は、新しい学習指導要領の中で非常に大事な柱となっているが、この視点からの授業改善はどのように行われているのか。

教育長

小学校では教科担任制を始めた小学校もあり、9年間の系統的、計画的カリキュラムづくりで、小中一貫教育の取組を進めている。



市の送付物などに「音声コード」を！



市民が納得できる市政運営とまちづくりを 中村美奈子

質問

市の財政の根幹をなす市税の収入未済額への対策はどうか。

市長

不能欠損額が約2千33万円、収入未済額が約1億4千936万円である。滞納者に対して電話や訪問、資産調査などによる差し押さえ等の取り組みを強化し、滞納金額増加を防いでいく。

質問

音楽のまち・こもろは市民をどのように巻き込んでいるか。

市長

現在、強かにリードしていただいているのは市内児童生徒たちであるが市民の皆さんの活動に対しても積極的に支援を行い、まち中に音楽があふれる小諸を目指したい。

質問

ステラホールは市民が利用しやすい料金設定か。

市長

平均的な範囲であり、音楽のまち・こもろ推進に寄与する団体や市民に減免や優先サービスがある。

質問

県下唯一の小諸高校音楽科を活かした、市民のご自慢大会開催はどうか。

市長

音楽のまち・こもろとして場所の提供や支援協力は惜しまない。

質問

旧寅さん会館跡地を市民が必要とする映画館として利用するのはどうか。

産業振興部長

経済活動を前提とした誘致活動であれば取り扱っていききたい。また映画館に限定せずに、広く商業的な利用の誘致を引き続き行う。



今も続く寅さん献花式と旧寅さん会館の今後



子宮頸がん撲滅に向けた取組はどうか 土屋利江

質問

子宮頸がんの予防効果が高い、HPVワクチンの9価ワクチンが公費で接種可能となったが、小諸市の状況はどうか。

保健福祉部長

令和5年4月から9価ワクチンが定期接種となり、令和5年4月以降、7月時点で延べ208名の方が子宮頸がんワクチンの接種を受けており、うち7割以上の方が9価ワクチンの接種を受けている。

質問

キャッチアップ接種最終年度である令和6年度には、最終期限を迎える高1から27歳相当の未接種者全員に対し最終期限の周知と不安を払拭する啓発の取組はどうか。

保健福祉部長

ホームページや広報で周知のほか、改めて対象となる方に国のリーフレットを郵送しワクチンの効果や副反応の周知をし、窓口や電話相談でも情報提供をしている。

質問

HPVワクチンを男性も接種す

ることでのようなことが期待できるか。

市長

男性のHPVワクチン接種については、HPVの感染やウイルスが引き起こす可能性のある疾患の予防、他者への感染予防が期待できるとして、令和2年度より4価のHPVワクチンの任意接種が認められたと承知している。

質問

男性のHPVワクチンの接種費用助成の考えはどうか。

市長

市が特定の任意接種を単独で助成することは考えていない。



HPVワクチンについて



「水道水」と資源回収「古着」について

小林 哲子

質問 水源はどこからか。

市長 日本の水道水源は、多くは河川、またダムなどの地表水だが、小諸市は、その全ての水源が地下水と湧水を使用。浅間南麓の豊かな水に恵まれ、良質でミネラルが豊富な水質である。

質問 小諸の水の特徴は何か。

建設水道部長

小諸の水は東側の硬水、西側の軟水という多様な硬度の水である。

質問 「白い付着物」があるが何か。

市長

蒸発残留物で、水を沸騰させる際に起こる現象。特にミネラル分を豊富に含む硬水は顕著である。

質問 古着の回収量と再利用はどうか。

市長

年間160トン。市内のリサイクル業者へ売却、最終的に東南アジア等海外で古着で再利用。家庭から

排出する際、汚れや劣化、雨に濡れると「古着」としての価値が無く、売却できずクリーンヒルこもろで焼却処理する事になる。

質問

市独自のリサイクル法はないか。

市長

四半期ごと競争見積もりにより、最高値をつけた市内業者と契約をし、古着を売却することで再資源化を図っている。SDGsを考慮し、環境に配慮したエシカル消費について広報したいと考える。食品ロスの削減、3R等についても啓発し、小さな行動で社会が大きく変えられることを伝えたい。



「白い付着物」の正体は!?



市道の状況と通学路は安全か?

竹内 健一

質問 通学路の点検手順はどうか。

教育長

市内通学路の安全確保を図ることを目的に、危険箇所等の把握と改修・改善等を検討する「通学路合同点検」を毎年実施している。

質問

学校・PTAの要望対応はどうか。

教育長

要望集約し合同点検実施となる。危険箇所の状況はどうか。

教育長

今年度の要望件数は38件である。

質問

「見守り活動」の補助はどうか。

教育次長

小諸市安全安心なまちづくり事業補助金を利用した経緯もある。

質問

自転車通学状況と指導はどうか。

教育長

東中は208名で31%、芦中は6名で1・5%、安全教室を開催し、ヘルメット着用の指導をしている。

質問 市道改修の予算配分と地域要望の状況はどうか。

市長

209箇所の要望があり優先順位を付け修繕工事を図っており、前年比6割増の2億4千万円盛った。

質問

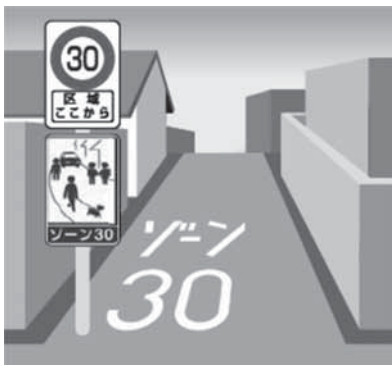
ゾーン30と事故の状況はどうか。

建設水道部長

市内4箇所(坂の上・野岸・東・美南ガ丘小)を指定している。

市民生活部長

今年度は5月に死亡事故が1件発生し死者1名で、120日連続の交通死亡事故ゼロが続いている。



小諸市のゾーン30



学校間の交流の必要性と地域での場づくり 田邊 久夫

質問

統合前の交流が必要と思うかどうか。

教育長

現在、校長会と小中一貫教育の進め方を協議中なので、小中学校と調整を行い、両学区で交流が活発となるよう取組を進めていきたいと考えている。

質問

イベントの交流は小学校の交流に有効と思うがどうか。

教育長

学区内の仲間の交流は比較的实施しやすい。一方、校種、学校を超えての交流には幾つかのハードルがあると認識している。それらのハードルがある中で交流を行うきっかけとしては、イベントの交流が有効であると考えている。

学校外の仲間づくりは、学校のイベントだけでなく、育成会活動や市民まつりの際にも役立つ可能性がある。子どもの育ちのために多くの交流の場づくりを進められるように検討する。

質問

地域と学校の交流が必要と思うかどうか。

教育長

地域の方がご自身の活動を、趣味やライフワークなど、学校という場を使って実施することができれば、日常的で継続的な交流へとつながり、公共施設の複合化の観点からも各校に交流スペースを用意することで、活動の場が学校になるのではないかと考えている。その活動が地域の方の生きがいにつながり、児童生徒の育ちにつながる、そんな場づくりをしていきたいと考えている。



これからの学校は



くらしの大切な情報、市民に届いていますか 清水みき枝

質問

令和5年度電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金は住民税非課税世帯等が対象で、家計急変世帯を30世帯と見込み900万円の補正予算で財源を確保したが現在の申請はどうか。

保健福祉部長

今回の申請は2件。市では把握が困難なため、対象者は厚生課に問合せ願いたい。

質問

自立支援・生活改善等相談場所として、社協の生活就労支援サポートセンター「まいさば小諸」があるが利用状況はどうか。

市長

令和4年度は195件でコロナ前の1.5倍の件数。市と社協、他機関との連携により、生活困窮者の支援体制のさらなる強化を図る。

質問

引き続き、弱者へのきめ細かなサポートを願うが、このような大切な情報が果たして市民の元に届いているのか疑問である。広報こ

もろは全戸配布できているのか。

総務課長

区に加入していない方へは、配布できていない。市役所や公共施設に置いてもらうようになる。

企画課長

デジタル化が非常に進んできているためHPで確認願いたい。広報こもろ専用配信アプリ「マチイロ」の活用を広報でPRしている。

質問

区でスマホ講習等、若者や移住者が携わり易い活動はできないか。
総務課長
移住者交流等、区長会にこの提案を共有し、今後検討したい。



自治体のニュースで住むまちが好気になる

市議会だより200号表紙の題字を募集します

こもろ市議会だよりは、次号で200号となり節目の発行となります。より親しまれる広報紙づくりの取り組みとして、市民の皆様から『市議会だより』の題字を公募し、掲載します。

採用された題字は、令和6年2月発行の第200号以降の表紙の題字として掲載させていただきます。また、採用された方には感謝状を贈呈させていただき、紙面にて氏名を掲載させていただきます。皆様からのたくさんのご応募をお待ちしております。

【募集期間】

令和5年12月8日(金)まで

【応募規定】

1. 小諸市に住所を有する方、市内の学校に在籍する方（団体・グループでの応募も可）
2. 文字は「市議会だより」とし、横書き
3. 文字の色や書体は自由
4. 応募用紙1枚につき1作品で1人2作品まで（応募者本人が書いた未発表のもの）
5. 題字の大きさ タテ5cm、ヨコ15cm(タテとヨコの比率が1：3でA3用紙以内であれば可)

【応募方法】

公式ホームページに掲載の募集用紙に、題字及び必要事項（氏名、住所、年齢、電話番号、学生の場合は学校名・学年）をご記入のうえ、作品をご持参いただくか、郵送またはメールにてお送りください。

この字を募集します！



【お問い合わせ】

小諸市議会事務局 電話：0267-22-1700（内線2403）
メール：gikai@city.komoro.nagano.jp



地産地消推進
キャラクター「こもろん」

応募してね～!!



応募用紙

12月定例会の予定（11/24～12/19）

月	火	水	木	金	土	日
11/20	21	22 請願等締切(正午)	23	24 9:30～ 本会議(提案説明等)	25	26
27	28	29	30	12/1	2	3
4 9:00～ 本会議(一般質問)	5 9:00～ 本会議(一般質問)	6 9:00～ 本会議(一般質問)	7 9:00～ 総務文教委員会・分科会	8 9:00～ 市民福祉委員会・分科会	9	10
11 9:00～ 産業建設委員会・分科会	12	13	14 9:00～ 予算決算委員会	15	16	17
18	19 9:30～ 本会議(委員長報告等)	20	21	22	23	24

*予定のため変更になる場合があります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

市議会では、皆さんの要望などを
請願や陳情として受け付けています。

令和5年12月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は令和5年11月22日(水)正午です。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。





ぼいす

第26回

キラキラ★小諸人
千曲小学校4年生「みどりの少年団」
の皆さん

今回は、「みどりの少年団」の活動を行っている千曲小学校4年生の皆さんにお話を伺いました。

Q1 みどりの少年団の目的はなんですか。

自分たちの身の回りにある自然や生き物についてもっと知り、日本の自然や緑を未来に残すために活動することです。

Q2 どのような活動をしていますか。

一学期には、花植え、野菜づくり、巣箱づくり、梅の実取り、梅料理作り、市有林での間伐体験、北相木村での、みどりの少年団交流会などを行いました。

今後、植林体験などを行う予定です。一年間活動したあとには、自分たちが取り組んだ活動を振り返ったり、次に出来るような活動は何かを考えたりする予定です。

Q3 森林の持つ役割は何ですか。

山の地面を強くしたり、土砂崩れを防いだりしています。他にも空気をきれいにしたり、雨水を蓄えて少しずつ流したりもしています。大きく育った木は、家などの材料になります。

Q4 大人達や、同年代の子ども達に伝えていきたいことは何ですか。

自然や緑を大切にしてください。残してほしいです。自然は、命にとって必要なものだと思うから、大切にしてください。また、自然を残すだけでなく、もっと増やして行ってほしいです。

〈感想〉

みどりの少年団を通して、身の回りの自然について知ることが出来ました。もっと自然を大切にしていきたいと思いました。木を切ったり、植物を育てたりするのが楽し

かったです。これからも自分達にできることを見つけてやりたいです。



木の伐採体験



森林についての学習

傍聴席



柏木下区
木村利恵子 さん

現在の議場に初めて入った時、市側、議員席、傍聴席とお互いの顔が見える配置に好印象を持ちました。それから時折傍聴に伺っています。事務局の方も大変親切に案内

してくださいます。質問時間も40分から60分になり、落ち着いて質疑応答しているように感じています。全ての質問を傍聴するのは難しいので、コミュニティテレビの放送を見るようにしています。放送は質問者、答弁者だけが映りますが議場全体の様子も映していただくと、足を運べない人にも雰囲気が伝わるのではないのでしょうか。パネルで資料を使いわかりやすく示している議員もいます。

しかし大切な質問まで話が間延びしてしまう議員もあり、勿体ないと感じる場面もありました。高齢化社会問題、未来を担う大切な子ども達のこと、医療費の補助等他にも小諸市は課題が山積んでいます。都会に出た皆さんが「故郷小諸に帰ってずっと住みたい、働きたい」と胸を張って言う、市政、議会そして市民と協働していけたらと思っています。

編集後記

今年の夏は過去最高に暑かった。熱中症対策に感染予防と、外を歩くにも大変であったが、4年ぶりの市民まつりや各地イベントは、屋台を楽しむ子どもたちの笑い声が響き渡り、お年寄りの笑顔も溢れ大賑わいだった。これでやっと「ウイズコロナ」の日常が完成したかに思えた。しかし、コロナ第9波がじわりと到来。当議会9月定例会委員会審査で初の「オンラインで採決する」という一幕があった。万が一の為に委員会条例や会議規則を定めていたか

らできたのであるが、これはコロナから学んだ議会改革の一つでもある。暑すぎた夏のイベントの陰に潜む収まらないコロナの猛威と物価高は市民のくらしを直撃しており、これから迎える寒い冬への不安は積もるばかりだ。そんな市民の声を議員はしっかりと聴き、もっと深いところにある問題に気が付かなければならず、市民との距離を縮める努力をもっとしたい。この議会だよりが果たしてこの距離感でいいのか、考える時がきていると感じる。(みき)

